

みんなで進める災害対策

～震災編～

調布市総合防災安全課

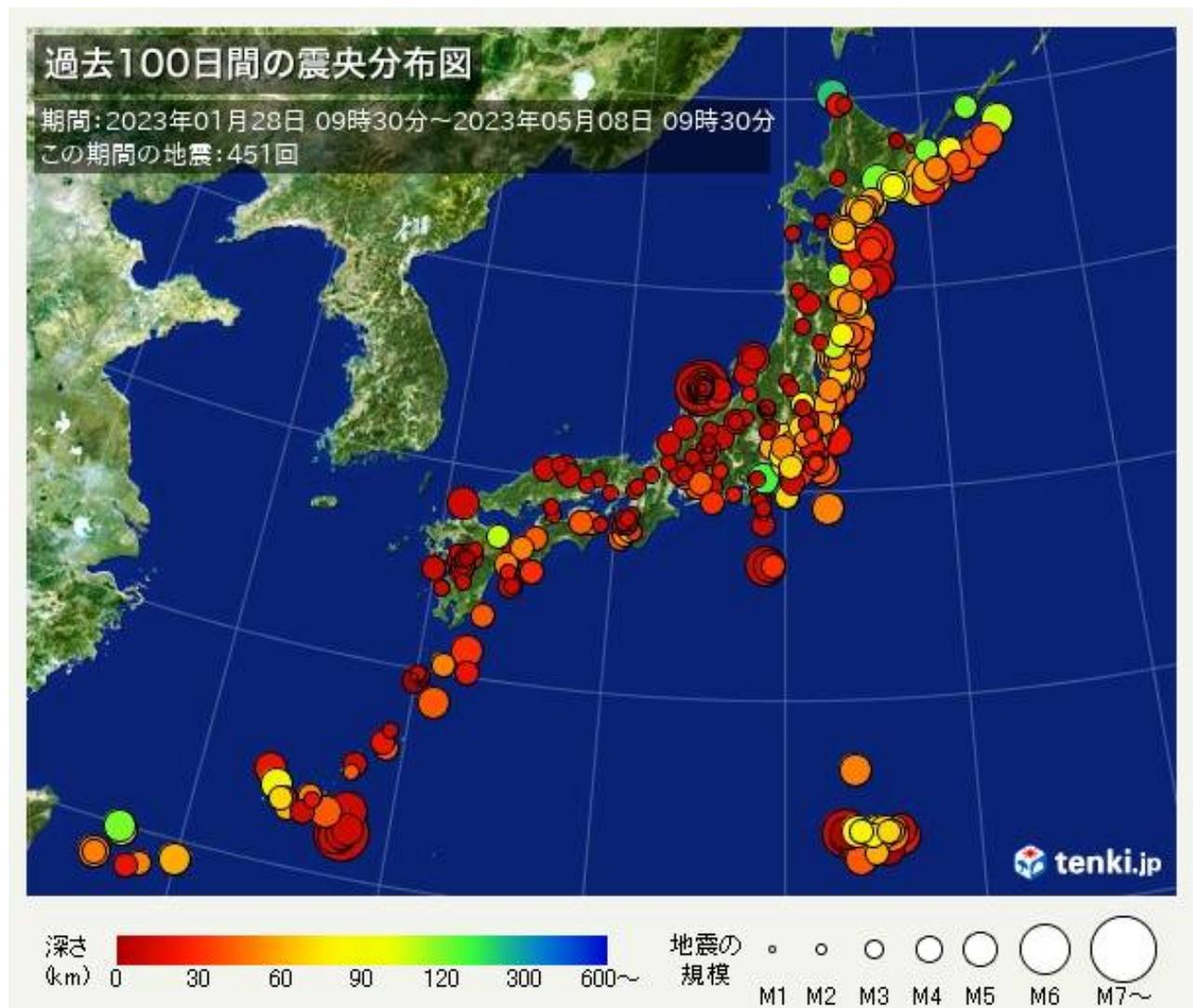
1

- 1 想定される地震**
- 2 住民同士の連携**
- 3 災害に備えて
一番大事な事は？**

1 想定される地震

- 地震の頻度について
- 想定される地震について

<地震の頻度について（日本気象協会HPから）>

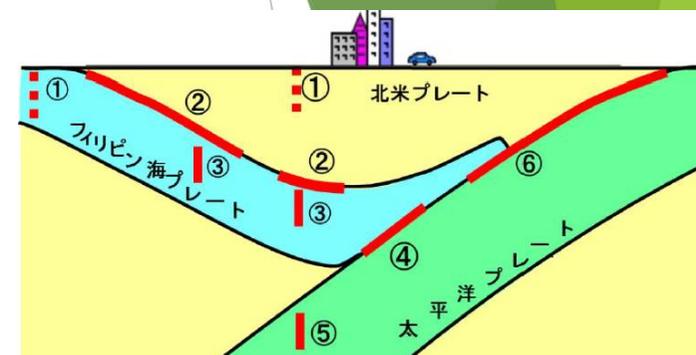


<想定される地震について>

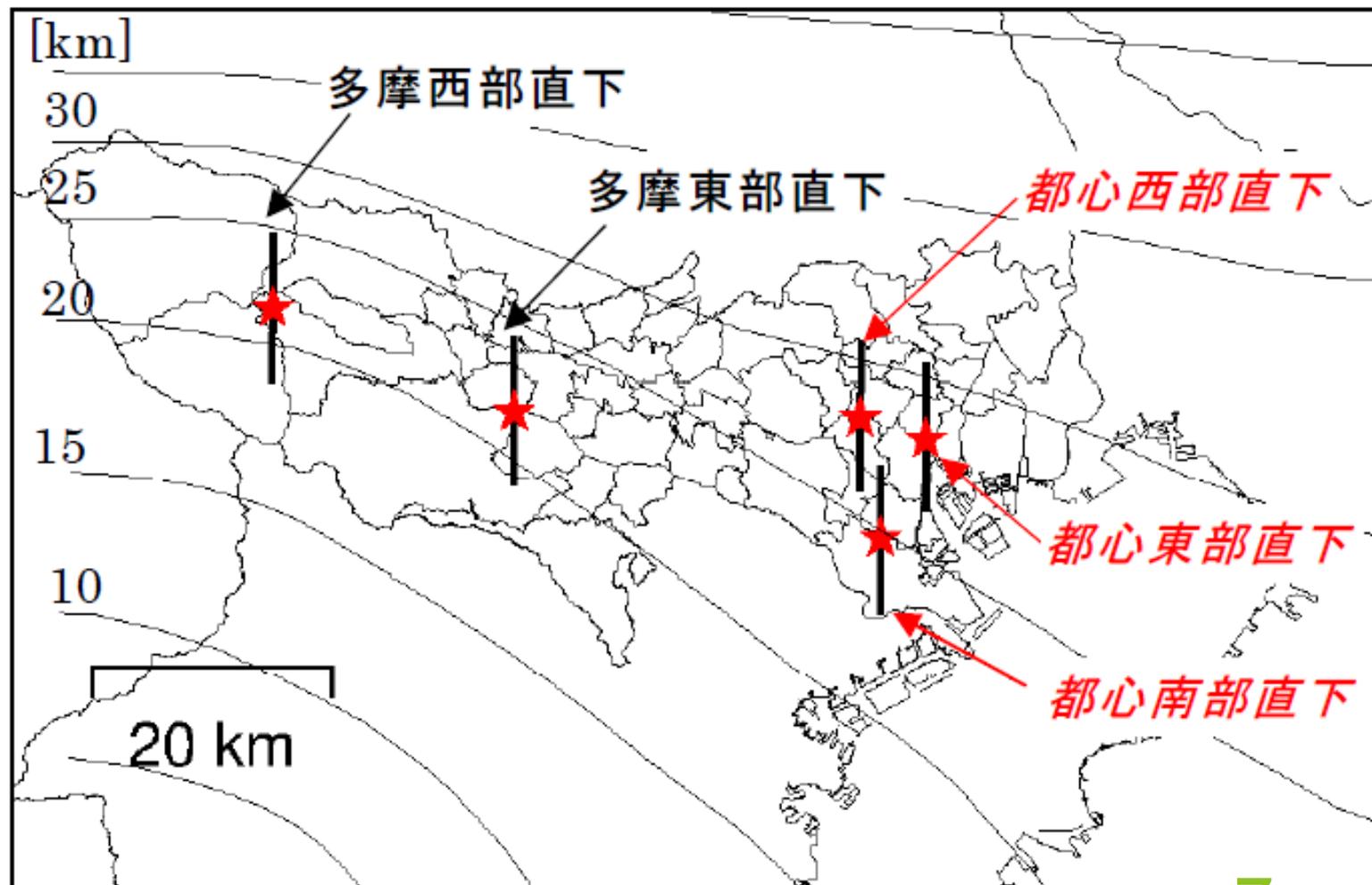
	東京都の被害想定 (令和4年公表)	東京都の被害想定 (平成24年公表)	東日本大震災 (平成23年3月11日)	阪神淡路大震災 (平成7年1月17日)
震源・規模	多摩東部直下地震 M7.3	多摩直下 M7.3	三陸沖 M9.0	淡路島北部 M7.3
発生時刻等	冬18時 風速8m/秒	冬18時 風速8m/秒	14時46分	5時46分
死者	約4900人	約4700人	約1万9400人	約6400人
負傷者	約8万1600人	約10万1100人	約6200人	約4万3800人
建物全壊被害	約16万1500棟	約13万9400棟	約12万1700棟	約10万4900棟
避難生活者数	約275万人	約179万人	45万人以上	30万人以上

<想定される地震について>

		平成24年	令和4年	比較
名称		多摩直下地震 (右図②)	多摩東部直下地震 (右図③)	—
地震タイプ		プレート境界で発生する地震	プレート内で発生する地震	—
震度	6弱	86.4%	33.4%	△53ポイント
	6強	13.6%	66.6%	+53ポイント
全壊棟数		673棟	675棟	+2棟
火災	出火件数	5件	10件	+5棟
	消失棟数	331棟	1,160棟	+829棟
死者数		33人	55人	+22人
負傷者数		931人	991人	+60人
避難者数		33,866人	34,277人	+411人
帰宅困難者数		46,407人	22,648人	△23,759人



<想定される地震について>



<想定される地震について>

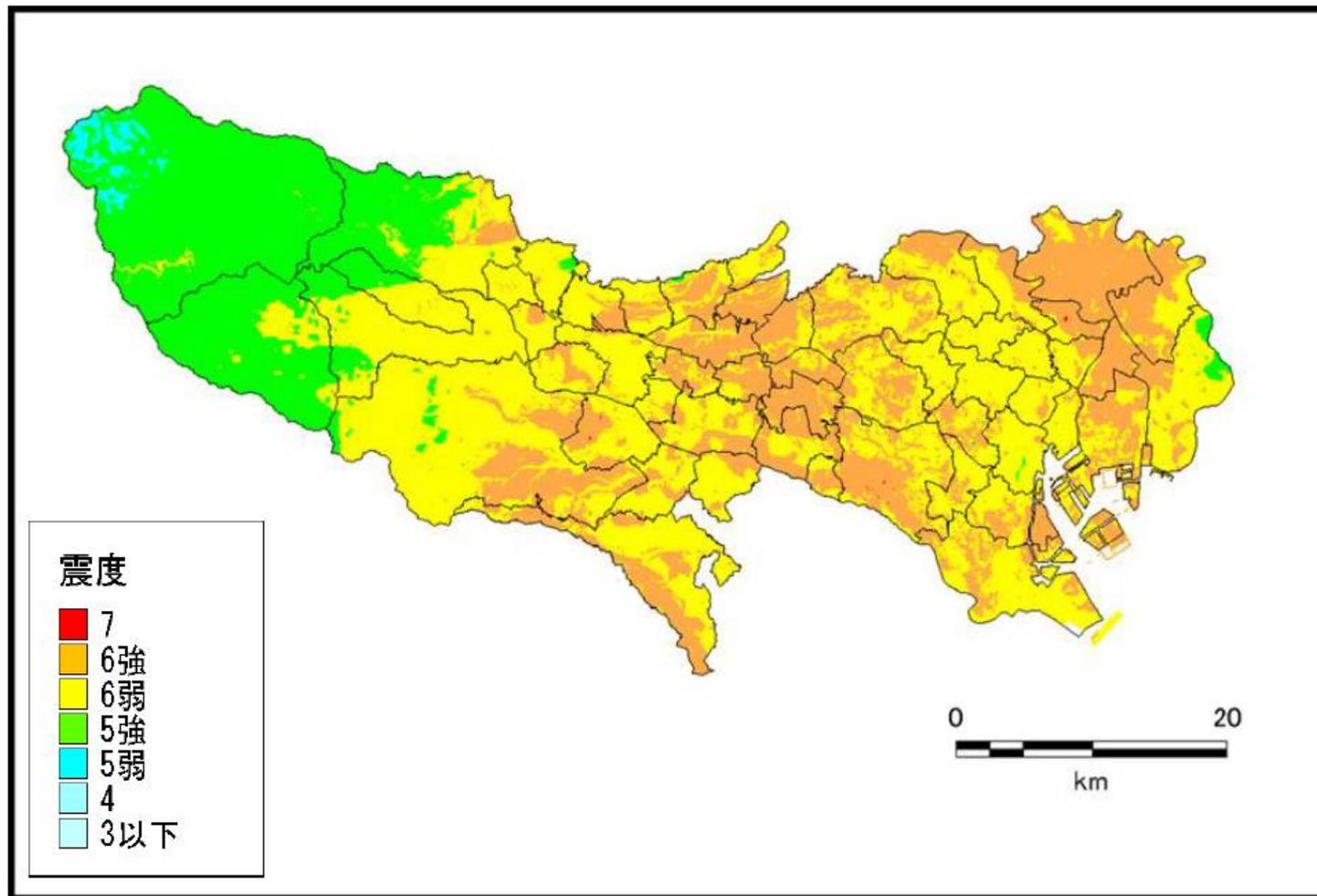


図 多摩東部直下地震(M7.3)の震度分布

<想定される地震について>

震度と予想される被害の状況 (気象庁震度階級関連開設表から)

<p>0</p> <p>【震度0】 人は揺れを感じない。</p>	<p>1</p> <p>【震度1】 室内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>2</p> <p>【震度2】 室内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p>3</p> <p>【震度3】 室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p>4</p> <p>【震度4】 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。</p>	<p>6弱</p> <p>【震度6弱】 ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。</p>		
<p>5弱</p> <p>【震度5弱】 ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</p>	<p>6強</p> <p>【震度6強】 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</p>		
<p>5強</p> <p>【震度5強】 ● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本が落ちるものが増える。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>	<p>7</p> <p>【震度7】 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</p>		

この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。

6弱

【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い 耐震性が低い

6強

【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が高い 耐震性が低い

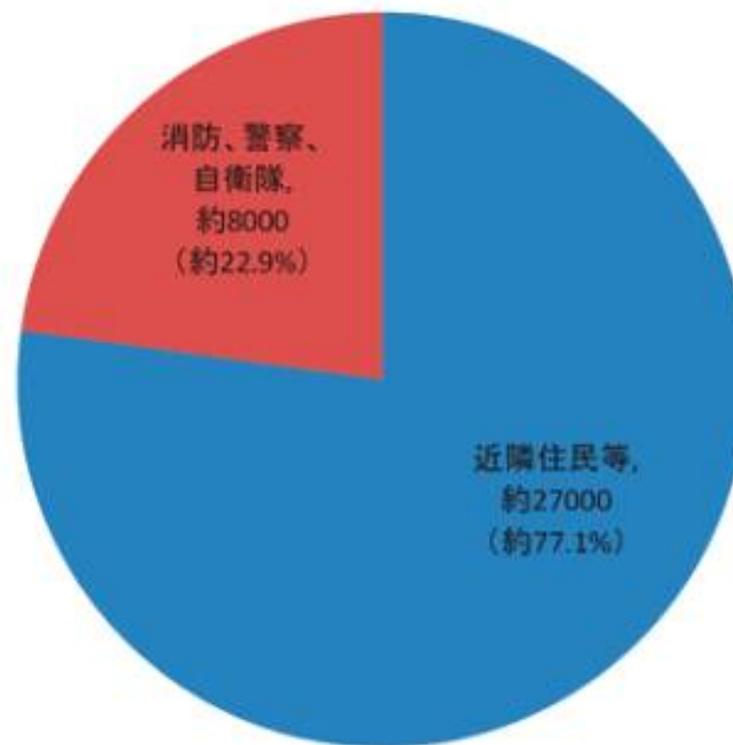
2 住民同士の連携

10

<自助，共助の重要性>

阪神淡路大震災における救助主体について

- 阪神・淡路大震災で，生き埋めになったり閉じ込められた人が公的な救助隊に救出された割合は約23%でした。
(平成26年防災白書)



<自助，共助の重要性>

調布市民 ⇒ 238,952人（令和5年4月1日時点）

「公助」	調布市役所	⇒	約	1,300人
	調布消防署	⇒	約	250人
	調布市消防団	⇒	約	300人
	調布警察署	⇒	約	500人
			合計	2,350人

公助の力1人当たり ➡ **100人**の市民救助や対応が必要に！

共助

隣人同士が助け合う

自助

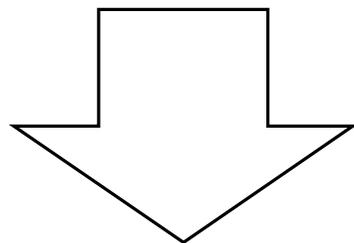
まず自分の身を守る

手が回らない

12

<自助，共助の重要性>

同時多発的な被害を公的機関のみで救出することは不可能。



- 自分の身の回りが落ち着いたら，近隣の方の安全確認を！
- 市の訓練や地域訓練に参加し，防災行動力を高める。
普段やっていないことは，本番でもできません。

3 災害に備えて 一番大事な事は？

<地震その時 10のポイント (地震時の行動) >

『地震だ！まず身の安全』

- ・ 揺れを感じたり，緊急地震速報を受けた時は，身の安全を最優先に行動する。
- ・ 丈夫なテーブルの下や，物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ，揺れが収まるまで様子を見る。

【高層階での注意点】

- ・ 高層階では，揺れが数分続くことがある。
- ・ 大きくゆっくりとした揺れにより，家具類が転倒，落下する危険に加え，大きく移動する危険がある。



出典：東京消防庁 15

<地震その時 10のポイント（地震直後の行動）>

『あわてた行動 けがのもと』

- ・ 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ・ 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



出典：東京消防庁 16

<地震その時 10のポイント（地震直後の行動）>

『門や塀には近寄らない』

- ・屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



出典：東京消防庁 17

<地震その時 10のポイント (地震後の行動)>

『火災や津波 確かな避難』

- ・ 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- ・ 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。
(津波は、調布市では想定されていません。)



出典：東京消防庁 18

<地震に対する10の備え（身の安全の備え）>

『家具類の転倒・落下・移動防止対策 をしておこう』

- ・けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



出典：東京消防庁 19

質疑

20